

第 二 九 八 一 號 艦 型  
一 般 計 画 要 領 書

海軍

工務部

表紙共十七枚

製圖 昭和18年7月22日  
出図 昭和18年9月26日

目次

一 重要寸法等

3頁

二 砲煩兵装

5

三 水雷兵装

7

四 航海兵装

7

五 光学兵装

8

六 電気兵装

8

七 無線兵装

9

八 音響兵装

9

九 機関

10

十 東員数

11

十一 主たる機装品等

11

十二 重量

12

十三 復原性能、旋回性能等

14

十四 連続行動期間

16

一、重要寸法

魚線間長	(米)	七九・五
全長	(米)	八四・〇
吃水線長(1W L)	(米)	八二・五
最大幅	(米)	八・〇
吃水線幅(1W L)	(米)	七・五五
深サ		
「キールライン」ヨリ上部構造物甲板上面迄(⊗)	(米)	六・七・〇
「キールライン」ヨリ司令塔頂板上面迄	(米)	八・四・五
「キールライン」ヨリ艦橋天蓋上面迄	(米)	一一・〇・五
「キールライン」ヨリ潜望鏡立杖上端迄	(米)	一一・五・二
「キールライン」ヨリ「バラストキール」下面迄	(米)	・四・五
耐圧船殻直径(被板外)	(米)	四・九・〇
耐圧船殻全長(前後端ヲ含メズ)	(米)	六五・七・〇
安全潜航深度	(米)	一〇・〇

	排水量(常備標準狀態)	(噸)	一、五六〇
	前部吃水(常備標準狀態)	(米)	四・六五
	後部吃水(常備標準狀態)	(米)	四・六五
	平均吃水(常備標準狀態)	(米)	四・六五
	排水量(滿載標準狀態)	(噸)	一、七九六・七
	平均吃水(滿載標準狀態)	(米)	五・二一
	排水量(潛航狀態)	(噸)	約 二、〇九〇
	(上部構造物、浮力ヲシテ其他非水防部ヲ含マズ)		
	排水量(基準狀態)	(噸)	一、二七〇
		(噸)	一、二五〇
	重油搭載量一號重油		
	滿載標準狀態	(噸)	四二〇
	常備標準狀態	(噸)	二〇〇
	航繞距離		
	水上(十二節)	(哩)	二〇、〇〇〇
	水上(十四節)	(哩)	一六、〇〇〇
	水中(三節)	(哩)	約 九〇

速力

軸馬力

水上(公試全力)  
水中(主電動機全力)

水上(公試全力)  
水中(主電動機全力)

(節) 約 一・九・五  
(節) 約 二〇・〇  
七・三

✓  
一・五・〇  
二・〇・〇

二. 砲煩兵裝

(木)	(二)	(一)	(四)	(一)
拳銃	小銃	輕機銃	機銃	主砲
				四十五口径十一年式十二糎砲
				十三糎聯裝
				九九式
				九九式
				一四式
				一
				二
				二
				一
				一
				基
				基

✓ 八排氣カミ式過給器付  
裝備の場合ヲ示ス

(八) 彈藥數 (発)

種類	一門分	常備標準状態	滿載標準状態 (訓練用彈藥ヲ含ム)
十二榴砲	一〇〇	一〇〇	一〇〇
左右空包	〇	〇	〇
十三耗機銃	二〇〇	四〇〇	四二〇
輕機銃 彈藥空包	三七〇	七四〇	七六〇
小銃 彈藥空包	三〇〇	六〇〇	六〇〇
拳銃	一二〇	一四四	一九八
狹窄射撃実包	一	一	八

(九) 水密彈藥包筒

十二榴砲水密彈藥包及藥包筒

各二〇筒

十三耗機銃水密彈藥包筒

(一箇分二四。发入)

二箇

(十) 其他

三. 水雷兵装

(1) 發射管

九五式三型

艦首用  
艦尾用

四門  
二門

(2) 發射指揮要具

九二式潜水艦方位盤

一式

(3) 空氣壓縮ポンプ

艦本式一型改一

二基

(4) 氣蓄器

ターニラブロー用

三号改一(四・五五)

二一箇

臭雷送氣用

六号改一(四・五五)

一箇

(5) 臭雷

九五式二型

二。箇

機雷ヲ搭載スル場合ハ代價重量トシテ臭雷ヲ減スルモノトス

(6) 機雷

(7) 其他

四. 航海兵装

(1) 羅針儀

九五式水防羅針儀  
安式二号車輪羅針儀(單式)

一組

(2) 測程儀

九二式一号一型小艦艇用

一組

(3) 航跡儀

九六式二型

一組

(4) 信号兵器

噴煙信號筒  
九七式山川灯二型

各一組

(5) 其他

五. 光学兵装

(1) 潜望鏡

八八式九米三型改一  
八八式九米四型改二

一組

(2) 測距儀

九六式六六型

一組

(3) 望遠鏡

九三式一三型 双眼望遠鏡  
九七式一三型 双眼望遠鏡

三組

(4) 其他

六. 電気兵装

(1) 推進電動機

直流電動機特八型

二基

電動機

馬力六〇。 每分回転數約二九。

發電機

馬力五一。kW 每分回転數約四四。

(2) 主蓄電池

一號蓄電池一五型

二四。箇

(3) 二次電源

五五V 五 KVA  
二二V 〇.八 kW

二基  
一基

(4) 其他



七、無線兵裝

(1) 送信裝置

特四号送信機

一組

(2) 受信裝置

特受信機

二組(外補用一組)

(3) 水中受信裝置

一組

(4) 方位測定裝置

特方位測定機

一組

(5) 電波探信儀

对艦船見張用

一組

(6) 電波探知機

对飛行機見張用

一組

(7) 輕便電信機

TM 輕便電信機改二

一組

(8) 測波裝置

一式

(9) 印字機

二組

(10) 短波檣

一組

(11) 其他

一組

八、水中音響兵裝

(1) 水中聽音裝置

九三式水中聽音機 潜水艦用

一組

(2) 測深儀

九九式

一組

(3) 其他

一組

(予定)

九. 機関

- (1) 主機械 二十二号十型内火機械 (過給機付) 二基  
 (2) 軸馬力及推進軸回転数 (毎分)

種類	軸馬力	正味馬力	回転数
公試全力	5450.00	5200.00	550.00

（排気タービン過給機付裝備場合）

(1) 軸系及推進器

軸系 推進器 直径 19.0米 二軸

(2) 補助機械

操舵装置

縦舵 油圧「ネピア」式 一基

横舵 電動齒車式 一基

潜舵 電動齒車式 一基

揚錨装置

電動齒車式 一基

(3) 其他

十、乗員数(假)

本艦定員

士官

特務士官

准士官

八名

下士官兵

五六名

計

六四名

十一、主要ナル機装品等

(1) 揚錨装置

主錨

一。艘

一。個

主錨鎖

各三。耗

二五。米

一。條

(2) 短艇

通船(五米)

一。隻

(3) 冷却機械

二〇〇〇。〇。カリ

一。基(外機部)一。基

(4) 揚貨機

人力車地

一。基

十二. 重量

名稱	状態	常備標準状態	満載標準状態	軽荷標準状態
船殼		五六五・〇	五六五・〇	五六五・〇
機装		八五・〇	八五・〇	八五・〇
固定齊備品		一〇・〇	一〇・〇	一〇・〇
固定「バラスト」(移動「バラスト」共)		六二・〇	六二・〇	六二・〇
砲煩		一三・八	一三・一	八・五
水雷(壓縮空氣共)		一〇九・三	一〇九・三	七二・六
航海		二・八	二・八	二・八
光學		八・四	八・四	八・四
電氣(蒸溜水共)		一七八・四	一七九・四	一七六・七
無線		八・一	八・一	八・一
音響		二・二	二・二	二・二
機関(水・油共)		二〇三・〇	二〇三・〇	二〇三・〇

一般齊備品(※)	三二四	四三五	一三五
重油	二〇〇〇	四二〇〇	二〇〇〇
輕油 (内火機用)	一〇	二〇	一
輕油 (奥雷用)	一	二	一
潤滑油	一四〇	二九四	一四
海水其他	五〇六	四三五	三〇五八
メンテナンス内残水	一五〇	一〇〇	一五〇
合計	一五六〇〇	一七九六七	一五六〇〇

註(※) 乗員六四名トシ六〇日分、糧食ヲ計上ス

十三. 復原性. 舵. 旋回性能等  
復原性能(水上)

名稱	狀態	常備標準狀態	滿載標準狀態	輕荷標準狀態
排水量	噸	一,五六〇.〇	一,七九六.七	一,五六〇.〇
平均吃水	米	四.六五	五.二一	四.六五
ギルライシヨリ重心上其迄ノ高サKG米	米	二.八八	二.八〇	二.八九
重心ヨリ横向メタセンリ迄ノ高サGM米	米	約 五.五	約 五.〇	約 五.四
最大復原傾向度	度	約 三七	約 七〇	約 三五
最大復原傾向度	米	約 一.八	約 二.一	約 一.七
復原性範圍	度	九〇以上	九〇以上	九〇以上
水線上重心迄ノ高サM	米	(一) 一.三二	(一) 一九六	(一) 一.三一
予備浮力	%	約 三〇	約 一四	約 三〇
風圧側面積比	%	七三	五二	七三

復原性能(水中)

龍

名稱	狀態
排水量	常備可潛狀態 一、五四五・〇
重心ヨリ浮心迄ノ高さ(呎)	滿載可潛狀態 一、七八六・七
	輕荷可潛狀態 一、五四五・〇
	約・三・〇
	約・二六
	約・二九

龍	龍	龍	龍
龍型式及數	龍面積 (平方米)	龍面積比% (龍体比)	龍面積比% (龍体比)
下部縱龍 羊平衡龍	八・〇	六〇・九	四七・五
上部縱龍 平衡龍	一・六	四二・〇	六六・三
橫龍 平衡龍×2	一〇・一	二七・七	二七・七
潛龍 平衡龍×2	七・三	九・六	四七・五

旋回性能

旋回中、最大横傾斜角度 (度)	旋回圈		吃水線長ト、比 全長ト、比	吃水線長ト、比 全長ト、比	航角 (度)	速力 (節)	水上 (常備) 公試全力 三五	水中 (潜航) 四時間放電率 三五
	最大横距	最大縦距						
三〇	四五	三五	四五	三五	三五	三五	三五	三五
二〇	四〇	三〇	四〇	三〇	三五	三五	三五	三五

動搖周期

狀態

動搖周期 (複秒)

(常備標準狀態)

約 六〇

十五、連續行動期間

六〇日

(終)